

ジェフ・グリフィン(Jeff Griffin)

副所長

環境スチュワードシップ

サバンナリバー国立研究所



グリフィン博士は、サバンナ・リバー・ニュークリア・ソリューションズLLCが米エネルギー省のために運営するサバンナリバー国立研究所（SRNL）で、環境スチュワードシップ（環境管理）担当の副所長を務めている。博士はこの立場で、環境浄化の分野におけるSRNL研究開発ポートフォリオの監督および開発を担っている。8,000万ドル以上に相当するこのポートフォリオは、主にエネルギー省環境管理局のためのものであり、国内外のプログラムを扱っている。博士は今年の春、エネルギー省環境管理局の特命顧問に就任した。

グリフィン博士は、ジョージア工科大学から核化学分野の博士号を取得している。1987年、SRNLに入所した博士は、主に高レベル廃棄物処理や放射化学、分析化学、核物質測定といった責任が高まりつつある分野にて役を担ってきた。

グリフィン博士が率いる部門は、エネルギー省環境管理局本部に戦略的サポートを提供しているほか、サバンナ・リバー・サイトだけでなくエネルギー省の他の拠点や国際的な関心領域においても環境回復・廃棄物管理プログラムに対し、重要な技術支援を行っている。同部門は、化学プロセス開発、放射性廃棄物の特性評価・処理技術、材料開発・分析、モデリング、浄化技術・戦略、遠隔システム・ロボット工学の分野でコア・コンピタンス（中核となる能力）を保持している。

博士は2012年以来、福島第1原子力発電所内外において、日本の浄化活動に対するSRNLの支援を担う最高業務責任者を務めている。